

- ・水と緑と詩のまち
- ・世界一美しい水と緑につつまれたデザイン都市まえばし

- ・前橋ビジョン「めぶく。」、Where good things grow.
- ・Green & Relax 構想、前橋市アーバンデザイン

自社の目的・特徴

経営方針

これまで

資源(強み)

- ・東京駅から1.5時間
- ・豊かな緑、自然
- ・県庁所在地であること

知財

- ・アーツ前橋
- ・前橋文学館
- ・製糸産業の遺産（レンガ建築の建物など）

ビジネスモデル

- ・観光収入
- ・既存産業
- ・
- ・

知財の果たしてきた役割

- ・集客（観光）
- ・
- ・
- ・

価値

提供してきた価値

- ・（観光客へ）非日常体験、知的好奇心を満たす。
- ・（地元住民へ）各種公共サービスの提供

提供先から得てきたもの

- ・観光収入、住民税等の税収

移行戦略

移行のための課題

- ・観光に頼らない街づくりが必要
- ・みんなが共感する街づくりのビジョンがない
- ・首長が変わるたびに街づくりの方針が変わる

必要な資源

- ・街を変えたいと思う人々、熱い想いを持つ人々（田中仁氏）
- ・サポーター、仲間（前橋商工会議所）
- ・自治体（前橋市）、大学（共愛学園）
- ・アウター（KMS TEAM）

解決策

・50年後、100年後でも不変のビジョンを策定し、その下で民間主導の街づくりを行う。

これからの外部環境

- + ・知識産業オフィス機能が郊外へ移り始めている
- ・多拠点居住
- ・東京一極集中
- ・
- ・

これから（50, 100 年後）

資源(強み)

- ・前橋を変えたいと思う人々
- ・前橋に新たに集まるナレッジワーカー
- ・”刺激”と”Relax”が両立する環境

知財

- ・都市が提供する”刺激”
- ・自然が提供する”Relax”

ビジネスモデル

- ・ナレッジワーカーと地元産業とのコラボによってイノベーション、新デザイン、新ビジネスの創出を促し、地域経済を活性化する。
- ・GIAにより企業家、新規産業を増やす。

知財の果たす役割

- ・ナレッジワーカーによるイノベーション、新デザイン、新ビジネスの創出の促進

価値

提供する価値

- ・（ナレッジワーカーへ）働きやすさ、やりがい、創造する喜び、リラックス
- ・（地元住民へ）充実した教育や医療、インフレ設備、人口増加、活気ある街の雰囲気

提供先から得るもの

- ・ナレッジワーカーと地元産業とのコラボによって生まれるイノベーション、新デザイン、新ビジネスから生まれる収入（税収）

これまでの外部環境

- + ・大都市のストレス
- ・
- ・東京一極集中
- ・

弱み

- ・有名観光スポットがない
- ・行政主導街づくりの限界
- ・前橋市人口減少
- ・厳しい地方財政
- ・地元の人たちは諦めている